

SC 24 (Computer graphics, image processing and environmental data representation /
コンピュータグラフィクス, 画像処理および環境データ表現) 総会 & WG s 報告

SC 24 専門委員会
委員長 藤村 是明
(独立行政法人産業技術総合研究所)

1. 開催場所: プラハ(チェコ)

2. 開催期間: 2006-06-05/09

3. 参加国数/出席者数: 5 カ国/23 名

議長 (Ha-Jine Kimn, 韓), セクレタリ (Jose Alcorta, 英), ITTF (Keith Brannon), 米 (10), 英 (2), 韓 (6), 豪 (1), 日 (1: 藤村是明)

4. 特記事項

4.1 WG 6 (Multimedia Presentation and Interchange) 関係

WEB3D Consortium との共同開発プロジェクトであり, 仮想現実モデリング言語 VRML97 の後継規格である eXtensible 3D (X3D) については, 第 1 次機能拡張 (amendment として行われた.) はほぼ終了し, 第 2 次機能拡張が本格的に開始される (revision として行われる). また, 同じく WEB3D Consortium との協同開発プロジェクトである, 人体運動記述を核とした Humanoid Animation (H-Anim) については皮膜 (skin) 機能の高度化などの第 1 次機能拡張が行われることになった.

なお, 韓国から X3D および H-Anim に関する機能拡張の作業提案が出されたが, 協同開発相手で実質的作業を行っている WEB3D の方に提案を持って行き, そこでの対応を待つことになった.

これに関連し, このような共同開発プロジェクトでの SC 24 側からの作業開始提案の扱いについて, WG 6 主査 (R.Puk) を中心として, SC 24 としての基本方針を検討していくことが決議された.

4.2 WG 7 (Image Processing and Interchange, Registration) 関係

画像関係については, ISO/TC 211 の地理情報画像センサ情報 (ISO 19130) を ISO/IEC 12087-5 BIIIF (Basic Image Interchange Facility) で扱うためのプロファイルが, 登録にまわされる予定であったが, 19130 自体が進展の遅れで再作業になったため, 当面は何の作業もないことになった.

登録関係では, SC 24 開発規格関係の登録規格である 9973 が FDIS 投票待ちとなった.

現在の WG 7 主査 (S.Kerr) の再任が出身母体の米国で否決されたため, 主査の募集が行われることになった. 日本としては, 活動が低下した WG を解散させる好機と考え, 立候補は見送ることが妥当であろう.

4.3 WG 8 (Environmental Representation) 関係

地理情報利用シミュレーションのための (構造的) データ表現を規定する SEDRIS 関係の第 1 期の全ての作業は, IS 出版済みか出版待ちとなった. このうち, 地理空間座標系機能を定義する ISO/IEC 18026 SRM について, FDIS 投票以後に多数の要改善項目が発見されたとして, revision の作業開始が提案されたが, IS 文書が発行されてもいないうちに, 第 1 版の問題点を明らかにしないで第 2 版の発行に進むことは読者に不親切であり, 要改善項目を反映したと称する 500 ページ強の document を新たに検討対象とするような作業には参加できないと日本は反対した. その結果, defect report 承認即 Technical Corrigendum 発行の作業と Amendment の作業開始が決定された.

(注) Amendment 作業の結果は, Amendment 部分だけの発行になることもあるし, 反映文書

(consolidated

document) の発行になることもある . Revision の時間間隔についての制限は全くない--Keith Brannon 氏 .

韓国が提案してきた SEDRIS 利用促進のための技術報告 (TR) の NP 投票結果について検討し , 日本がコメントした通り , Type 3 の TR とすることが妥当であることが確認され , 今後の作業計画が決定された .

4.4 U3D 関連

先日 , ECMA から fast-track 提案があり , SC 29 に割り当てられて否決された U3D 問題について , SC 29 リエゾン担当者から紹介があり , 審議の結果 , “ 本来ならば SC 24 に割り当てられるべき案件であり , このようなことが今後起こらないよう , Secretary が経緯の調査等を行う ” ことが決議された . この審議の際には , Keith Brannon 氏も同席していたが , 提案元の割り当て要求が妥当かどうかを , 事務局で判断するのは難しい課題だと述べていた .

なお , SC 29 リエゾン担当者から , “ リエゾン担当者の基本的責任である SC 29 文書のチェックを怠り , この問題について DIS 投票締め切り以前の各国 SC 24 の対応の機会を与えず , 単なる事後報告だけに終わったことの責任をとって辞任したい . ” との申し出があったが , 慰留された .

4.5 SC 24 東京会議

来年の SC 24 総会および各 WG 会合について , 日本は , 7 月 9 日 ~ 13 日 , 機械振興会館 , で準備を進めている旨報告し , 了解が得られた .

4.6 メンバについて

ITTF Keith Brannon 氏より P メンバが投票などの責任を果たしているかを正確にチェックし , 責任を果たしていない国は O メンバとするようにとの指示があった . これを実行すれば , 今回の P メンバが現在の 11 ヶ国から 6 ヶ国になるので , 回復策についての検討がなされた .

5. 今後の開催予定

2007-07-9/13 東京 (日)

2008 (米)

6. その他

チェコがはじめての開催国となり , プラハ市中心部に近いチェコ規格協会が開かれた会議であるが , 規格協会事務局による会議設営は立派であったものの , つい最近まで長年代表として参加していた Zara 教授も顔を見せず , チェコ代表としての参加はゼロだったのは , 残念であった .